

「平成29年度 第1回県政モニターアンケート調査」  
調査結果（概要）

県政モニターの皆様に対して、県政運営の参考とするために下記のとおりアンケート調査を行いました。

- 1 調査方法
- (1) 調査地域 : 長野県全域
- (2) 調査対象者 : 県政モニター(県内在住の18歳以上の男女)  
1,230人(無作為抽出1,127人、公募103人)  
(現在の県政モニターは平成28年7月から登録)
- (3) 調査方法 : 郵送又はインターネット
- (4) 調査期間 : 平成29年5月30日(火)～平成29年6月12日(月)
- 2 調査の目的・内容
- 次の3項目について14問を設定
- (1) 「自転車事故を補償する保険への加入」について  
「長野県自転車条例(仮称)」の制定にあたり、自転車保険加入促進に関する意識を調査
- (2) 消費生活に関する意識について  
「第2次消費生活基本計画」の策定にあたり、消費生活に関する意識等を調査
- (3) 道路整備等について  
「信州みちビジョン」の策定にあたり、道路整備に関する意識等を調査
- 3 回収状況
- 回収数 992人 (回収率 80.7%)

回答者の内訳

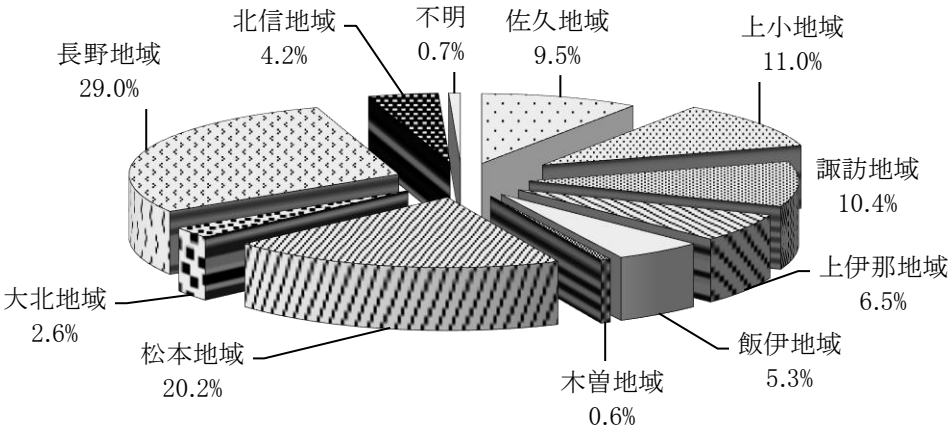
【男女別と年代別】

	総 数	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不 明
総 数	992	8	48	97	153	208	301	170	7
	100.0%	0.8%	4.8%	9.8%	15.4%	21.0%	30.3%	17.1%	0.7%
	男 性	501	4	20	34	70	104	169	0
		50.5%	0.4%	2.0%	3.4%	7.1%	10.5%	17.0%	－
	女 性	484	4	28	63	83	104	132	0
		48.8%	0.4%	2.8%	6.4%	8.4%	10.5%	13.3%	－
不 明	7	－	－	－	－	－	－	－	7
	0.7%	－	－	－	－	－	－	－	0.7%

※ 割合(%)はすべて、総数(n=922)に対する割合

【地域別】

	総 数	佐 久	上 小	諏 訪	上伊那	飯 伊	木 曽	松 本	大 北	長 野	北 信	不 明
回答者数	992	94	109	103	64	53	6	200	26	288	42	7
	100.0%	9.5%	11.0%	10.4%	6.5%	5.3%	0.6%	20.2%	2.6%	29.0%	4.2%	0.7%



## 1 「自転車事故を補償する保険への加入」について

### 問1 自転車保険に関する項目の条例化の是非

■「条例で定めた方がよい」と回答した人が約7割

① 「条例で定めた方がよい」	72.3 %
② 「条例に定める必要はない」	14.2 %
③ どちらともいえない	12.8 %
④ 無回答	0.7 %

(単数回答)

(問1で「条例で定めた方がよい」と回答した方)

### 問2 自転車保険加入促進について県条例で規定する場合の考え方

■「加入しなければならない」と「加入するよう努めなければならない」が約5割

① 「加入しなければならない」	49.8 %
② 「加入するよう努めなければならない」	48.8 %
③ どちらともいえない	1.3 %
④ 無回答	0.1 %

(単数回答)

## 2 消費生活に関する意識について

### 問3 消費者として行政に望むこと

■「県民の安全安心の確保」が約8割、「商品・サービスの適切な選択機会の確保」が7割弱

①「県民の安全安心の確保」 (消費者事故情報の提供や物価の価格監視、地産地消の推進など)	79.6 %
②「商品・サービスの適切な選択機会の確保」 (悪質な事業者への指導・処分や知識啓発など)	67.2 %
③「消費者教育の充実」 (世代ごとの消費者被害防止の啓発や消費者教育のための人材育成など)	37.4 %
④「相談窓口の強化」 (身近な市町村での相談体制の整備や相談員の専門性向上など)	37.2 %
⑤「県民意見の反映」 (行政における計画策定や取組の公表、消費者団体等との協働など)	23.2 %
(複数回答)	

### 問4 「エシカル消費(※)」の認知度

■「知っている」「聞いたことがある」が合わせて2割超、「知らない」が8割弱

①「知っている」	4.2 %	※「エシカル消費」とは、倫理的消費ともいい、価格や品質だけでなく、「地域」「社会」「人」「環境」に配慮した消費行動のこと (地元産野菜の購入、省エネ家電製品の購入など)
②「聞いたことがある」	18.4 %	
③「知らない」	76.5 %	
④ 無回答	0.9 % (単数回答)	

### 問5 知らずに実施していた「エシカル消費」の実態

■「値段の安さだけでなく、長く使えるか、本当に必要かを重要視する」が7割、「地元産や伝統工芸品を選んだり、また地元商店で買い物をする」が約6割、「減塩など健康に配慮した商品を選ぶ」が5割超

①「値段の安さだけでなく、長く使えるか、本当に必要かを重要視する」	70.0 %
②「地元産や伝統工芸品を選んだり、また地元商店で買い物をする」	59.9 %
③「減塩など健康に配慮した商品を選ぶ」	54.1 %
④「災害被災地や風評被害にあっている地域の商品を選ぶ」	29.3 %
⑤「リサイクル商品、またリサイクル可能な商品を選ぶ」	28.1 %
⑥「障がい者や障がい者施設で作った商品などを選ぶ」	22.3 %
(複数回答)	

### 3 道路整備等について

#### 問6 道路整備の方向性(※)の認知度

■「よく知っている」「知っている」が合わせて1割超

①

「よく知っている」

1.1 %

②

「知っている」

14.5 %

③

「あまり知らない」

44.6 %

④

「全く知らない」

38.5 %

⑤

無回答

1.3 %

(単数回答)

※総合5か年計画における道路関連の主な施策

基本目標	分野	施策
確かな暮らしが営まれる美しい信州	地域づくり	魅力ある地域の創造と発信
	安全	地域防災力の向上
		県民生活の安全確保
	社会基盤	高速交通・情報通信ネットワークの充実
		快適で暮らしやすいまちづくり

#### 問7 乗り物の保有状況

■「自動車」が9割超、「自転車」が約6割

① 「自動車」	95.7 %
② 「自転車」	57.6 %
③ 「オートバイ・原動機付き自転車」	15.7 %
ほか (複数回答)	

#### 問8 外出時の目的

■「通勤」が5割弱、「買物」が約3割

① 「通勤」	46.2 %
② 「買物」	27.9 %
③ 「仕事（配達、得意先回りなど）」	11.8 %
ほか (単数回答)	

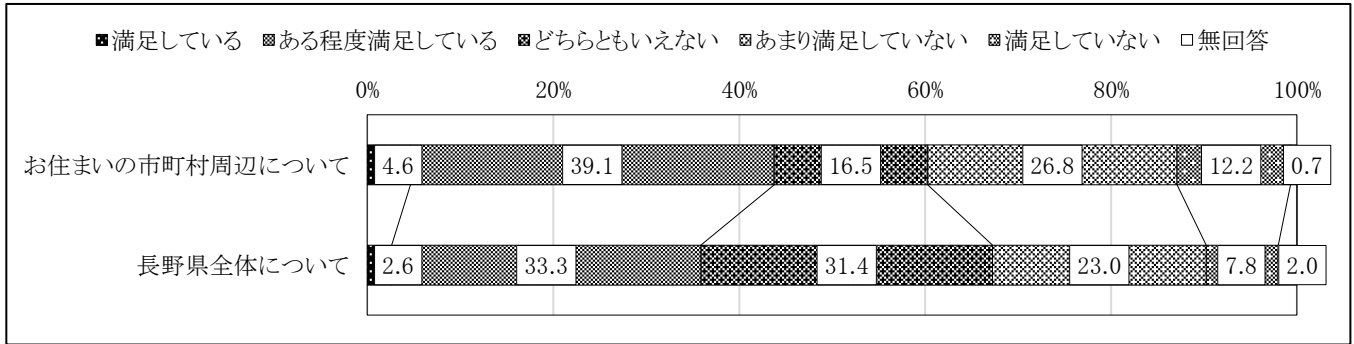
#### 外出時の交通手段

■「自動車」が8割超、「徒歩」が1割超

① 「自動車（自分で運転）」	85.2 %
② 「徒歩」	13.7 %
③ 「自転車」	11.0 %
ほか (複数回答)	

#### 問9 道路整備状況の満足度

■「お住まいの市町村周辺について」では、「満足している」「ある程度満足している」が合わせて4割超



(単数回答)

問10 優先して整備すべき道路

■「通勤や買い物などの生活道路」が7割弱、「いくつかの市町村を結ぶ幹線道路」が5割弱

①「通勤や買い物などの生活道路」	67.2 %
②「いくつかの市町村を結ぶ幹線道路」	47.0 %
③「市街地の道路」	34.2 %
ほか（複数回答）	

問11 道路対策の優先度

■「沿道の草刈りや舗装の穴埋め、こまめな除雪などの維持管理」が7割超、「歩道・自転車道の設置や歩道の段差をなくすなどの改善」が約5割

①「沿道の草刈りや舗装の穴埋め、こまめな除雪などの維持管理」	73.0 %
②「歩道・自転車道の設置や歩道の段差をなくすなどの改善」	49.4 %
③「すれちがいしやすくしたり、急カーブ・急勾配を減らす」	39.6 %
ほか（複数回答）	

問12 高齢歩行者への配慮に必要な道路整備

■「歩道の設置、拡幅、段差・傾きの解消」が9割弱、「自転車と歩行者の通行空間の分離」が約6割

①「歩道の設置、拡幅、段差・傾きの解消」	87.0 %
②「自転車と歩行者の通行空間の分離」	62.3 %
③「高齢者や車いす使用者などが快適に移動できるバリアフリー経路の案内」	45.0 %
ほか（複数回答）	

問13 地域活性化に必要な道路整備

■「歩行者や自転車が気軽に散策を楽しめる道路の整備」が約5割、「周辺の市町村への通勤を容易にする幹線道路の整備」が5割弱

①「歩行者や自転車が気軽に散策を楽しめる道路の整備」	51.1 %
②「周辺の市町村への通勤を容易にする幹線道路の整備」	47.4 %
③「大きな病院や商業施設などへ行きやすくする道路の整備」	39.6 %
ほか（複数回答）	

問14 大地震や大雨などの災害発生時における道路網分断の不安感

■「不安がある」「やや不安がある」が合わせて6割超

①「不安がある」	29.6 %
②「やや不安がある」	35.6 %
③「あまり不安はない」	26.7 %
④「不安はない」	5.9 %
⑤「わからない」	1.5 %
⑥ 無回答	0.6 %
(単数回答)	